

※Thunderbirdで受信した場合、「プライバシー保護のため、このメッセージ内のリモートコンテンツをブロックしました。」と表示が出るがありますが、「オプション」をクリックいただき、「yukarinokai@adb.shizuoka.ac.jpからのリモートコンテンツを許可する」をご選択ください。



静岡大学ゆかりの会 メールマガジン

第19号(2024年2月21日)

暦の上では、立春を過ぎましたが、寒い日が続いています。春の訪れはもう少し先のようにです。後学期試験が終了し、学生たちは春休み期間に入りました。キャンパスではいつもの賑わいがなく、少し寂しい雰囲気です。

静岡大学の最新情報をお届けします。ぜひご覧ください。

ー 静大トピックス ー



【防災総合センター】静岡県知事認証「ふじのくに防災マイスター」の認定講習が行われました

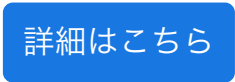
[詳細はこちら](#)

【グローバル共創科学部】“共創”を企画したスポーツ講演会を開催しました

[詳細はこちら](#)

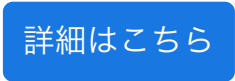


大谷翔平選手からのグローブが附属小・特別支援学校にも届きました！ —「野球しようぜ！」—



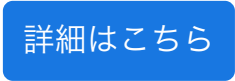
「大学文書資料室かわら版第3号」を発行しました

今年度から大学文書資料室かわら版を発行しています。是非ご覧ください。



静岡大学未来創成基金 寄附目的「学部・附属学校園等支援事業」新設のお知らせ

寄附者の皆様のゆかりのある学部・研究科や附属学校園を指定して支援いただけます。



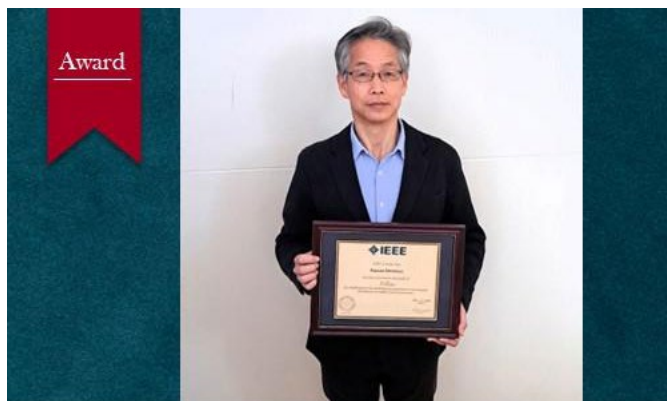
— 研究 —

【防災総合センター】令和6年能登半島地震被災地で学術調査を行いました





[詳細はこちら](#)



清水 一男 准教授がIEEEの「Fellow賞」を受賞

[詳細はこちら](#)

— 学生生活 —



【吹奏楽団】第57回静岡県管打楽器アンサンブルコンテストにて金賞ほか多数受賞！

[詳細はこちら](#)



「静大教育学部PR戦略委員会」の研修会を実施しました！

[詳細はこちら](#)

— イベント情報 —

(後期) 静岡大学
社会人リカレントセミナー

セミナー内容

コーディネーター 横田 宏樹 (静岡大学准教授)

「地域循環共生圏(ローカル SDGs)に於ける地域と中小企業との役割」

株式会社アサギリ 代表取締役
養 威頼 氏

「社会課題を自社の力に変える思考」
～今、中小企業家に求められる課題意識～

松葉倉庫株式会社 代表取締役社長
松葉 秀介 氏

「オープンファクトリーから考える。中小企業と地域の共創が生み出すものとは」

株式会社山崎製作所 代表取締役社長
山崎 かおり 氏

日時

-2024-
3/26 (火)
13:00-16:30

場所

静岡大学
静岡キャンパス
人文社会科学部
E棟 101

参加方法

参加方式

① 会場参加 (先着 50名)

② オンライン参加 (ZOOMを使用します)

※後日、収録動画を企業や団体の研修に利用する希望がございましたらご相談ください。

料金

参加料 3000 円

※参加料の振り込み方法は、申込書に別途ご連絡します。

申込方法

QRコードから
もしくは FAX

お問い合わせ先

☎ 054-238-4483
shizuoka.recurent@gmail.com

(後期) 『静岡大学 社会人リカレントセミナー』 参加者募集！

開催日：2024年03月26日(火)

時間：13：00～16：30

場所：静岡大学 静岡キャンパス
人文社会科学部E棟 101

参加費：3,000円（1 セミナー）

お申込み： [こちら](#) から

詳細はこちら

後期静岡大学社会人リカレントセミナー FAX 申込書送付先：054-237-3612

名前	電話番号	参加方式
住所	メール アドレス	対面 or オンライン

Zoomによるオンライン開催

第4回 プロジェクト研究所 シンポジウム

静岡大学では2019年より「プロジェクト研究所」の制度を導入し、現在、32のプロジェクト研究所が、日々研究を推進しています。

学内外の皆様へ、研究所の活動状況や社会問題へのアプローチなどを紹介することにより、地域連携の強化、社会問題への解決への貢献、研究活動の活性化につなげたいと考えております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 2024年2月29日(木) 14:30～16:00
(受付開始14:00)

1. 開会挨拶 静岡大学 理事 川田善正

2. プロジェクト研究所講演 (発表15分+質疑応答10分)

参加無料
要事前申込

■講演1
「人口動態と就労環境研究所の取り組み」
——若者にとって魅力ある地域であるために～「人証研」のこれまでとこれから——
荻野 達史 (人文社会科学部/教授)

＜概要＞ 若年人口の減少が急激に進行していくなかで、我々に問われているのは、若者に選ばれる地域であるためには何が必要かということだと思います。そこで我々の研究所は、若者たちのとくにキャリア意識や就労環境に焦点を当てました。当日はこれまでの高校生調査などの概要と今後の展望について報告します。

■講演2
「静岡STEAM教育研究所の取り組みと展望」
紅林 秀治 (教育学部/教授) 熊野 善介 (教育学部/特任教授)

＜概要＞ STEAM教育を通して、探究心を育て、自ら問題を見つけて解決する力を付けていくことを目指しています。STEAM教育研究所での今までの取り組みの概要ともの作り学習を用いた今後の取り組みについて報告します。

■講演3
「超高齢社会課題研究所の取り組み」
——リビング・ラボを活用した超高齢社会の製品開発の課題解決——
須藤 智 (グローバル共創科学部/准教授)

＜概要＞ 超高齢社会では、社会的課題や人々の生活上の課題がさらに複雑になっています。このような社会において課題に關係するステイクホルダーと一緒に課題解決を目指し、新たな価値を創出する手法としてリビング・ラボ(Living Lab)が提案されています。特に、リビング・ラボは生活者視点で人工物(モノ・サービス等)の開発を進めるデザイン手法として注目されています。今回のトークでは、リビング・ラボの手法を紹介し、製品開発における超高齢社会の課題解決の事例等をご紹介します。

3. 閉会

主催 国立大学法人静岡大学

後援 静岡商工会議所、浜松商工会議所

お問合せ 静岡大学プロジェクト研究所支援チーム
ken-pro@adb.shizuoka.ac.jp

参加申込はこちら

[申込URL]
https://us02web.zoom.us/join/register/
Z00funtqz8sE9Xr4C9bsAZY_HH3EQapGCL
[プロジェクト研究所HP]
https://project-kenkyu.shizuoka.ac.jp/

「第4回プロジェクト研究所シンポジウム」
開催のお知らせ

静岡大学では2019年より「プロジェクト研究所」の制度を導入し、現在、32のプロジェクト研究所が、日々研究を推進しています。

今回、学内外の皆様に研究所の活動状況や社会問題へのアプローチなどをご紹介します。

開催日：2024年02月29日(木)

時間：14：30～16：00（Zoom開設
14：00～）

※Zoomによるオンライン開催

参加費：無料

お申込み： [こちら](#) から（参加申込期間2
月29日まで）

詳細はこちら

ー キャンパスの日常 ー

このコーナーでは、静岡時代編集部が静大生のキャンパスライフを写真と共に紹介します。



メールマガジンをご覧の皆さま、こんにちは！
教育学部教育実践学専修1年の佐野です。

私の所属している教育実践学専修は、「何をしているところなの？」と聞かれることもしばしば……という少しマイナーな専修です。

授業では、実践と理論を結び付けるために、子どもの学習や活動を指導・支援する力、学校・学級を経営・運営する方法を学びます。

そんな実践の一番特徴的な授業である「学校教育実践I」「学校教育実践研究I」について、紹介したいと思います！

通称「訪問活動」と「振り返り会」と呼ばれるこの授業では、1・2年生必修で週に1回、学生の学習・教育活動支援として小学校を訪問します。

時間帯は昼休みから、5・6時間目の授業が終わった下校の時間までです。

昼休みには子どもたちと一緒に鬼ごっこやドッチボール等で遊び、授業では子どもたちの支援や先生方の手伝いをさせていただきます。

最初に訪問させていただいた時には、子どもたちとどのように接したり、会話したりすればよいのか、迷いながら行動していました。

回を重ねるにつれて、子ども達への声かけや支援の仕方について自分なりに学び、少しずつ行動できるようになったのではないかと思います。

子どもたちと定期的に関わり、先生方の授業や指導を側で見ることができるのは非常に良い経験だと感じています。

「振り返り会」では、2年生がコーディネーターとして話し合いを進め、学校教育に関わるテーマについて考え、意見の共有を行います。

（写真の日は、宿題について考えました。毎回様々な視点から意見が出ます）。

その日の訪問活動の自分自身を見直し、次はこうしてみよう！というヒントを得ることができる充実した場だと感じています。

今年の訪問活動はもう終わってしまいましたが、この経験を来年にも活かしていきたいと思っています。

教育実践学専修とは、「小学校に学習・教育活動支援として訪問するのが特徴的な専修」だと、是非お心に留めていただければ幸いです。

以上、教育学部（主に実践学専修）についての紹介でした！

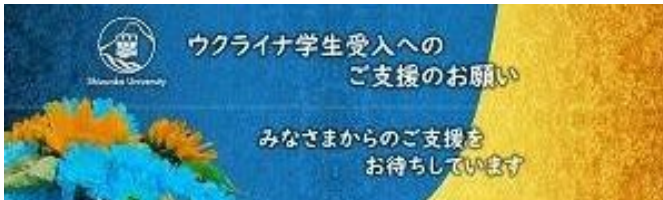
最後まで読んでいただきありがとうございます。



静岡時代編集部のウェブサイトはこちら



ー リンク一覧 ー



◇お問い合わせ

静岡大学 広報・基金課 基金係

TEL:054-238-5183

Email:yukarinokai@adb.shizuoka.ac.jp

※本メールマガジンを無断転載することは禁止されております。

※メールマガジン ニュース・イベント投稿フォームは [こちら](#)から

※メールマガジンの配信停止（ゆかりの会の退会）は [こちら](#)から